

## JHAstis の功績は『他院状況の見える化』

日本病院会が8月18日に開催した研修会で「JHAstis（ジャスティス）」のユーザー事例では、倉敷中央病院リバーサイド（岡山県倉敷市、130床）で総務管理グループ室長の山崎博史氏（画像）が講演。「これまで全く分からなかった他病院の状況が分かったことはJHAstis レポートの功績」（山崎氏）などと紹介しました。



倉敷中央病院リバーサイド総務管理グループ室長の山崎博史氏

### ●算定ポテンシャルは年間 1700 万円

JHAstis のユーザー事例では、山崎氏が「JHAstis2.0 活用事例紹介」と題して講演。同院では JHAstis を他病院とのベンチマーク結果、増収金額シミュレーションや算定・届出漏れの確認などに絞り込んで活用しています。例えば、リハビリ療法士の分析では、同院は地域包括ケア病棟もあることから、1日当たり平均リハビリ単位数は比較的高いという認識がありました。ところが、JHAstis のレポートによると、同単位数の中央値が 3.0 なのに対して、同院は 2.8 と平均を下回っていることが分かりました。こうした今までに分からなかった実態を把握できるのがベンチマーク分析の強みです。

